やる気 笑顔 元気

稲荷第一小学校
学校だより11号
令和5年 2月 3日

※学校ホームページもぜひご覧ください → http://www.magokoro.ed.jp/inaridai1-e/

学力診断のためのテスト（４教科）結果から

　例年、１月上旬に茨城県内の小・中・義務教育学校等が同日に本県教員が作成したテストを受けます。ねらいはその学年の学習内容がどの程度身に付いているかを知るためです。本校では４年生から６年生までの児童が受けました。結果は来週以降、個票にして返却されます。顕著に表れた本校の課題は「算数」不思議なことに、学校生活アンケートで答えた「授業はわかりますか」に対して「あてはまる 65.6%・ややあてはまる 26.5%」と92.1%の児童が答えていました。今回のテスト結果を重ねると、授業では理解できているのに、テスト等で確かめられると間違ってしまうということになります。理由として考えられるのは「時間がたつと忘れてしまう」「定着するまで繰り返し行っていない」などが考えられます。

　本校では３学期は全員が自主学習に取り組めるように、どの学年も指導に力を入れています。今年度は、４年生以上は紙ドリルを AI ドリルに代え、学校での授業とドリル・自主学習ノート等を併用しながら学習を進めています。児童アンケートとテスト結果から、自分にとって必要な学習は何か、自分は何が苦手か、何をどのように行えばよいか等、多くの手助けが必要なことがわかります。学校ではできなかった問題の補充を行いながら１年のまとめをしていきます。さらに、子どもたちの「できるようになりたい」という気持ちに応えられるようこれからも進めていきます。ご家庭でもお子さんの学習の様子をご覧になり、間違いやすい学習や苦手なことなどについて話題にしていただき、どうしたらよいかを一緒に考えていただけますようお願いします。

６年生の自主学習ノート　※　左は理科、右は算数の復習に取り組んだノート。どちらも忘れない努力を感じます。

　連日、休み時間、グラウンドでは長縄跳びに励んでいます。クラスごとに回数を競い合う子どもたちの姿も見られ、切磋琢磨している真剣な表情は見ごたえがあります。ブログにもアップしてお知らせしていきます。